

単位：千円

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計						
款	8	項	1	目	1	細事業名	地籍情報管理事業			所属	土木管理課
目 名 称	土木総務費										
目の予算額	118,002					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	38,542					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	132・133
	前年度当初	3,431	前年度最終	3,431						40	38,502

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	基本計画 第 1 節	生活基盤の充実
-------------------------------	---------------	------------------------	---------------	---------

- 1 目的  
地図を利用している様々な業務をデジタル化することにより、情報の共有化・業務の効率化を図りながら統合型GISの運用を図る。
- 2 事業内容  
数値情報化した地図・土地データをシステムにおいて管理し、異動データの更新を行う。

3 予算額

区分	細節	千円	説 明
9.旅費	特別旅費	18	研修会参加旅費 18,000円
11.需用費	消耗品費	70	常用消耗品等 70,000円
	修繕費	130	統合型GISハード修繕料 100,000円 測量機器等修繕料 30,000円
12.役務費	手数料	33	トータルステーション点検手数料
13.委託料	その他委託料	37,347	統合型GIS運用支援・システム保守委託料 2,289,600円 統合型GIS基盤データ作成委託料(航空写真、オルソ、DM) 35,056,800円
14.使用料及び賃借料	事務機器リース料	448	統合型GISサーバ、個別システムリース料(サーバ1台、パソコン6台分) 447,420円
	その他使用料	493	統合型GISサーバ設置使用料 492,480円
19.負担金補助及び交付金	負担金	3	佐賀県国土調査推進協議会会費 均等割 一律 3,000円
合 計		38,542	

4 事業の効果

簡便に地図の編集、作成が可能となり、検索時間、作業時間の短縮が図れる。また、航空写真、地形図の利用により、現地のおおまかな状況確認ができ、調査時間の短縮、省略が可能になり、業務の効率化が図られる。

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	8	項	6	目	1	細事業名	分譲宅地販売事業			所属	土木管理課
目 名 称	住宅総務費										
目の 予算額	6,333					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	6,333					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	142
						前年度当初 10,470 前年度最終 3,070					

白石町総合計画  
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)

基本構想  
第 5 章

参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】

基本計画  
第 2 節

健全な行財政運営の推進

1 目的

旧白石町役場白石支所跡地に造成した分譲住宅の販売を円滑に行うため、契約者への支援制度を創設する。

2 事業内容

1. 分譲地販売及び維持にかかる経費
2. 分譲地販売のための支援制度
  - ・住宅用太陽光発電システム設置費追加助成
  - ・町内建築業者発注者への助成
  - ・分譲地入居記念品贈呈

3 予算額

節	予算額	内容説明	
8 報償費	280	入居記念品購入(商品券)	20,000円×14区画= 280,000 円
11 需用費	153	事務用消耗品及び看板移設費等	100,000 円
		ごみステーション水道料	1,600円×12月×2ヶ所= 38,400 円
		街灯電気料	300円×12月×4ヶ所= 14,400 円
12 役務費	1,000	広告料	1,000,000 円
19 負担金補助 及び交付金	4,900	太陽光発電システム分	100,000円×14区画= 1,400,000 円
		町内建築業者発注分	500,000円×7区画= 3,500,000 円
合計	6,333		

4 事業の効果

支援制度を創設することにより、契約者の負担軽減を図るとともに、白石町総合計画第3章第2節「商工業の振興」、第5章第1節「参加と交流の促進」、及び第6章第2節「環境にやさしいまちづくり」が推進できる。

単位:千円

区分	平成26年度 当初		会計	一般会計								
款	8	項	6	目	2	細事業名	公営住宅ストック総合改善事業			所属	土木管理課	
目 名 称	住宅管理費											
目の 予算額	55,124					財 源 内 訳				予算書頁		
予 算 額	35,050					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	142・143	
						15,750				19,300	継 続	
前年度当初		0		前年度最終		0						

白石町総合計画  
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)

基本構想  
第 1 章

ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】

基本計画  
第 1 節

生活基盤の充実

### 1 目的

本町の町営住宅については、昭和35年から昭和61年にかけて建設されており、老朽化している木造や簡易耐火構造平屋の団地については建て替えの時期を迎えている。したがって、このような老朽住宅については、国の交付金を利用して建て替えや計画的な修繕・改善を行い長寿命化を図る。

### 2 事業内容

六角住宅の外壁等改修及び塗装工事

建設年度 昭和52年度 簡易耐火構造 2階 入居戸数 15戸

六角橋住宅の外壁等改修及び塗装工事

建設年度 昭和54・55年度 簡易耐火構造 2階 入居戸数 21戸

上廿治住宅下水道接続工事

建設年度 昭和58・59年度 中層耐火構造 3階 入居戸数 24戸

### 3 予算額

節	予算額	内容説明
11 需用費	50	事務用消耗品 50,000 円
13 委託費	5,000	六角住宅等外壁等改修工事設計委託業務 3,000,000 円
		上廿治住宅下水道工事設計委託業務 2,000,000 円
15 工事請負費	30,000	六角住宅等外壁等改修工事 20,000,000 円
		上廿治住宅下水道工事 10,000,000 円
合計	35,050	

### 4 事業の効果

老朽化により居住性や安全性が低下している町営住宅の改修を行うことにより、町営住宅の適正な管理が図られる。

単位:千円

区分	平成26年度 当初		会計	一般会計								
款	8	項	2	目	2	細事業名	道路新設改良費			所属	建設課	
目 名 称	道路新設改良費											
目の 予算額	280,414					財 源 内 訳				予算書頁		
予 算 額	68,968					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	136・137	
	前年度当初	50,992	前年度最終	30,309				67,000		1,968	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実			

1 目的

町道の総延長は約420kmあり、高齢化社会の到来による交通体系の変化や、近年のモータリゼーションの進展や営農体系の変化で車両や農業機械が大型化し、道路構造が対応できない状況です。これらの町道の改良工事を新町建設計画や合併支援道路計画との整合性を取りながら、年次施工することによりゆとりある生活基盤の整備と効率的な生産基盤の整備を図ります。

2 事業内容

平成17年1月1日に新しい「白石町」が誕生し、旧町間を結ぶ道路を合併支援道路として選定し、整備を行ってきた。23年度から過疎債を活用し整備を進めるとともに合併支援道路を補佐する路線を整備し、地域の生活基盤の充実を図る。

3 予算額

路線名 (計画延長、計画幅員)	本年度	本工事費	測量試験費	土地購入費	移転補償費	事務費	計	備 考
町道白石1号線 L= 660m W=7.0m	300m	7,200	0	0	0		7,200	過疎債対象道路(合併支援道路)
町道白石3号線 L= 730m W=7.0m	195m	22,350	0	840	1,000		24,190	過疎債対象道路(合併支援道路)
町道白石5号線 L= 180m W=7.25m	180m	6,000	300	0	0		6,300	過疎債対象道路(合併支援道路)
町道白石13号線 L=1,061m W=6.5m	110m	9,900	700	612	1,750		12,962	過疎債対象道路(合併支援道路)
町道白石15号線 L= 520m W=6.5m	170m	15,300	0	421	1,500		17,221	過疎債対象道路(合併支援道路)
消耗品費						50	50	契約用印紙代
印刷製本費						55	55	写真代
役務費						10	10	返信用切手、印鑑証明書手数料
使用料及び賃借料						680	680	積算システムリース料
原材料費						300	300	仕切弁嵩上用枠等
合 計		60,750	1,000	1,873	4,250	1,095	68,968	

4 事業の効果

上記事業を行うことにより、地域住民の交通安全の確保及び利便性の向上が図られる。

区分	平成26年度 当初		会計	一般会計							単位:千円																																																																																																
款	8	項	2	目	2	細事業名	社会資本整備総合交付金事業					所属	建設課																																																																																														
目 名 称	道路新設改良費																																																																																																										
目の予算額	280,414					財 源 内 訳					予算書頁																																																																																																
予 算 額	142,685					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	136・137																																																																																																
	前年度当初	216,826	前年度最終	192,858		82,620		59,000		1,065	継 続																																																																																																
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実																																																																																																		
<p>1 目的 社会資本整備総合交付金で取り組む3路線は、主要施設が集中する町の中心部あるいは、小学、中学及び高校のスクールゾーンで主要な道路となっており、いずれの路線も道路幅が狭く、歩行者が危険な状況である。 このため、新しく歩道を設置し、車道を整備することにより、児童・生徒や高齢者へ安全を配慮し、人に優しい交通環境の整備を図りたい。</p> <p>2 事業内容</p> <table border="1"> <tr> <td>①町道中郷揚田線(福田工区)県道武雄福富線～県道武雄白石線 改良・舗装・補償、全長L=440m W=9.5m(継続)</td> <td>②町道六府方南方線(2期)国道444号～町道六府方東部線 改良・舗装・補償、全長L=650m W=9.25m(継続)</td> <td>③町道北川廿治線 県道武雄福富線～町道秀村線 改良・舗装・補償、全長L=500m W=10.25m(継続)</td> </tr> </table> <p>3 予算額 (1)通学路の安全対策 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路 線 名</th> <th>総 延 長</th> <th>施工延長</th> <th>本工事費</th> <th>測量試験費</th> <th>用地費</th> <th>補償費</th> <th>事務費</th> <th>計</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町道中郷揚田線(福田工区) W=9.5m</td> <td>L=440m</td> <td>L=235m</td> <td>47,000</td> <td>1,000</td> <td>1,200</td> <td>5,500</td> <td></td> <td>54,700</td> <td>社会資本整備総合交付金事業(交通安全対策)</td> </tr> <tr> <td>町道六府方南方線(2期・3工区) W=9.25m</td> <td>L=650m</td> <td>L=120m</td> <td>48,500</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5,500</td> <td></td> <td>54,000</td> <td>社会資本整備総合交付金事業(交通安全対策)</td> </tr> <tr> <td colspan="10">(2)道路拡幅</td> </tr> <tr> <td>町道北川廿治線 W=9.5m</td> <td>L=500m</td> <td>L=475m</td> <td>33,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td>33,000</td> <td>社会資本整備総合交付金事業(道路改築)</td> </tr> <tr> <td colspan="10">(3)事務費</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td colspan="6"></td> <td>785</td> <td>785</td> <td colspan="2">事務用消耗品、大型コピー機トナー、積算基準図書等</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td colspan="6"></td> <td>200</td> <td>200</td> <td colspan="2">道路補修用砕石等</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>L=1,590m</td> <td>L=830m</td> <td>128,500</td> <td>1,000</td> <td>1,200</td> <td>11,000</td> <td>985</td> <td>142,685</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 事業の効果 当該路線の福富地域及び白石高校付近は、学校のスクールゾーンとなっていて、国の事業を使って歩道を設置することにより児童生徒の安全が確保できる。 庁舎及び白石中央公園(多目的広場)へのアクセスについては、国道207号及び主要地方道路武雄福富線への町道の拡幅整備を行う事ことにより町民の利便性が向上する。</p>													①町道中郷揚田線(福田工区)県道武雄福富線～県道武雄白石線 改良・舗装・補償、全長L=440m W=9.5m(継続)	②町道六府方南方線(2期)国道444号～町道六府方東部線 改良・舗装・補償、全長L=650m W=9.25m(継続)	③町道北川廿治線 県道武雄福富線～町道秀村線 改良・舗装・補償、全長L=500m W=10.25m(継続)	路 線 名	総 延 長	施工延長	本工事費	測量試験費	用地費	補償費	事務費	計	備 考	町道中郷揚田線(福田工区) W=9.5m	L=440m	L=235m	47,000	1,000	1,200	5,500		54,700	社会資本整備総合交付金事業(交通安全対策)	町道六府方南方線(2期・3工区) W=9.25m	L=650m	L=120m	48,500	0	0	5,500		54,000	社会資本整備総合交付金事業(交通安全対策)	(2)道路拡幅										町道北川廿治線 W=9.5m	L=500m	L=475m	33,000	0	0	0		33,000	社会資本整備総合交付金事業(道路改築)	(3)事務費										消耗品費							785	785	事務用消耗品、大型コピー機トナー、積算基準図書等		原材料費							200	200	道路補修用砕石等		合 計	L=1,590m	L=830m	128,500	1,000	1,200	11,000	985	142,685	
①町道中郷揚田線(福田工区)県道武雄福富線～県道武雄白石線 改良・舗装・補償、全長L=440m W=9.5m(継続)	②町道六府方南方線(2期)国道444号～町道六府方東部線 改良・舗装・補償、全長L=650m W=9.25m(継続)	③町道北川廿治線 県道武雄福富線～町道秀村線 改良・舗装・補償、全長L=500m W=10.25m(継続)																																																																																																									
路 線 名	総 延 長	施工延長	本工事費	測量試験費	用地費	補償費	事務費	計	備 考																																																																																																		
町道中郷揚田線(福田工区) W=9.5m	L=440m	L=235m	47,000	1,000	1,200	5,500		54,700	社会資本整備総合交付金事業(交通安全対策)																																																																																																		
町道六府方南方線(2期・3工区) W=9.25m	L=650m	L=120m	48,500	0	0	5,500		54,000	社会資本整備総合交付金事業(交通安全対策)																																																																																																		
(2)道路拡幅																																																																																																											
町道北川廿治線 W=9.5m	L=500m	L=475m	33,000	0	0	0		33,000	社会資本整備総合交付金事業(道路改築)																																																																																																		
(3)事務費																																																																																																											
消耗品費							785	785	事務用消耗品、大型コピー機トナー、積算基準図書等																																																																																																		
原材料費							200	200	道路補修用砕石等																																																																																																		
合 計	L=1,590m	L=830m	128,500	1,000	1,200	11,000	985	142,685																																																																																																			

単位:千円

区分	平成26年度 当初		会計	一般会計							
款	8	項	5	目	2	細事業名	りんりん公園整備事業			所属	建設課
目 名 称	公園費										
目の予算額	21,169					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	7,154					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	140・141
	前年度当初	0		前年度最終	2,471				7,154	0	継 続

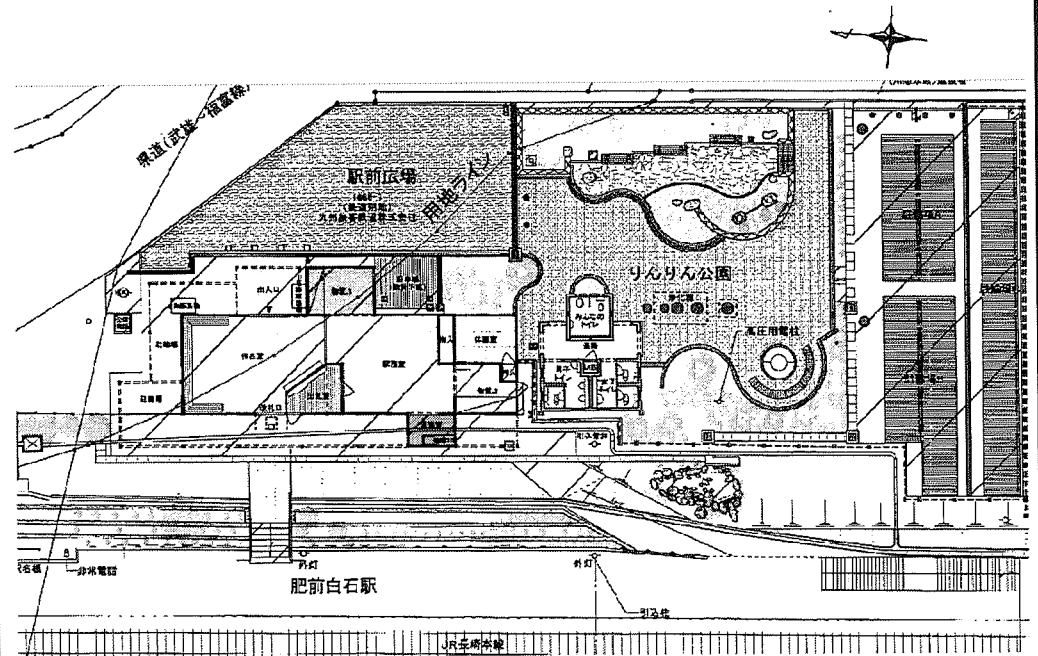
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	基本計画 第 1 節	生活基盤の充実
-------------------------------	---------------	------------------------	---------------	---------

1 目的

主要地方道武雄福富線の歩道設置工事計画が県の工事により平成27年度に計画されており、駅舎及び駅前広場、りんりん公園の一部が工事用地内にかかるため、トイレ、駐輪場、駅前広場、公園の物件移転工事を行う。

2 事業内容

事業年度	事業内容
平成26年度	・トイレ解体工事
	・りんりん公園解体工事
	・駅前広場解体工事
	・トイレ、公園、駐輪場、駅前広場実施設計
平成27年度	・トイレ新築工事
	・駐輪場解体、新築工事
	・公園、駅前広場新設工事



3 予算額

単位:千円

節	予算内容	金額
旅費	・普通旅費	41
需用費	・消耗品費	10
	・光熱水費	1
役務費	・仮設トイレし尿汲取料	1
委託料	・りんりん公園実施設計業務委託料	1,500
使用料及び賃借料	・仮設トイレリース料	1
工事請負費	・トイレ解体工事・駅前広場解体工事	5,600
	・りんりん公園解体工事	
合計		7,154

4 事業の効果

移転工事を行うことにより、歩道設置工事の円滑な推進を図ることができる。

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計						単位:千円		
款	10	項	1	目	3	細事業名	スクールカウンセラー配置事業				所属	学校教育課	
目 名 称	教育振興費												
目の 予算額	38,312					財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	3,044					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	151		
	前年度当初	3,044	前年度最終	3,044			1,014			2,030	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち				基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成			
<p>1 目的 小学校における不登校の増加に伴う教育相談事業の重要性に鑑み、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識を有するカウンセラーを配置し、小学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。</p> <p>2 事業内容 ① 児童生徒へのカウンセリング ② カウンセリング等に関する教職員及び保護者に対する助言・指導 ・教師の教育相談に関する力量の向上(校内事例研修会、実技研修会等) ・保護者や相談機関との連携の在り方 など ③ 児童生徒のカウンセリング等に関する情報収集・提供 ・いじめや不登校等の基本的な認識 ・子どもの心の捉え方や対応の在り方 など ④ その他児童生徒のカウンセリング等に関し、各学校において適当と認められるもの ・保護者への講話、カウンセリング ・学校だよりや教育相談だより等の原稿執筆</p> <p>※補助率1/3以内(小学校分事業 対象経費:謝金及び旅費に要する経費) 中学校については、県の直轄事業により実施される</p> <p>3 予算額 08 報償費 2,800千円 スクールカウンセラー謝金(2人)  09 旅費 244千円</p> <p style="text-align: right;">※財源内訳 3,044千円×1/3=1,014千円 県補助</p> <p>4 事業の効果 問題行動や不登校傾向の児童生徒との心理カウンセリングや保護者・教職員への助言・援助などの支援が図られ、継続的な関わりによる予防的効果も期待できる。</p>													

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計						単位:千円	
款	10	項	1	目	3	細事業名	適応指導教室事業				所属	学校教育課
目 名 称	教育振興費											
目の 予算額	38,312					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	4,149					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	151・152	継 続
										4,149		
	前年度当初	4,343	前年度最終	4,343								

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成
-------------------------------	---------------	----------------	---------------	---------------

1 目的

心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での相談、指導を行い、自立を促しながら集団生活に適応する力を育み、学校への早期復帰や社会性を育成する援助を行うため、交流館2階に適応指導教室コンフォートスペース「あい」を開設し、指導員を配置し指導を行っている。

2 事業内容

場所 白石町交流館 2階 80㎡  
指導員 専任指導者3名(教員資格有)

3 予算額

賃金 3,812千円 指導員賃金 3,811,200円  
 需用費 166千円 消耗品費 事務消耗品 120,000円  
 活動費 36,000円  
 修繕料 10,000円  
 役務費 48千円 電話料 48,000円  
 使用料及び賃借料 ケーブルテレビ利用料 16,170円  
 73千円 ケーブルインターネット 56,448円  
 備品購入費 50千円 教材備品・図書購入費 50,000円

4 事業の効果

心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での相談、指導を行い、集団生活に適応する力を育むことができる。



区分	平成26年度 当初		会計	一般会計						単位:千円	
款	10	項	2	目	2	細事業名	小学校教育振興費(移動パソコン教室)			所属	学校教育課
目 名 称	教育振興費										
目の予算額	71,106					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	25,564					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	156
	前年度当初	7,002	前年度最終	7,002					25,564	継 続	

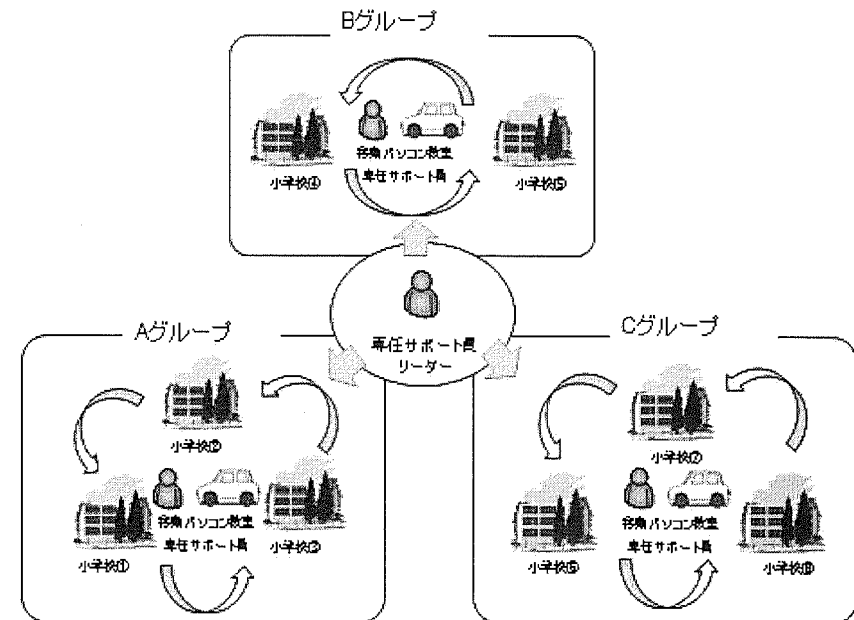
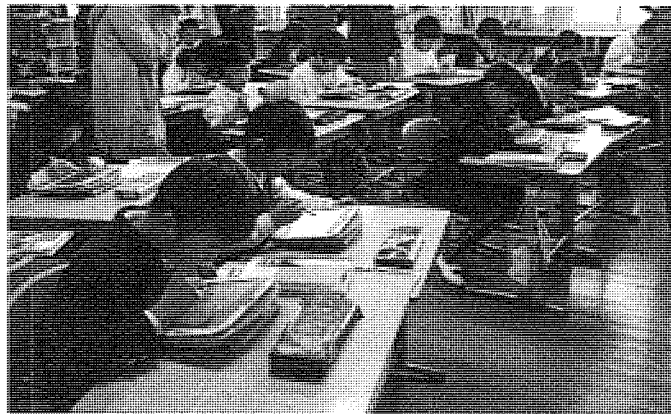
白石町総合計画 (人と大地がうろおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成
-------------------------------	---------------	----------------	---------------	---------------

1 目的

小学校の新しいパソコン教室のあり方として、「移動パソコン教室事業」にて小学校パソコン教室の運用を行い、児童一人一台のタブレットPCを駆使した新しい授業展開を行う。

2 事業内容

タブレット型PCを123台リースし、小学校8校を3グループに分け運用を行う。  
ICTに精通したサポート員を4人配置することにより、ICTを駆使した授業支援を行っていく。



3 予算額

13 委託料	17,386千円	移動パソコン教室運用費	17,386,000円
14 使用料	8,178千円	移動パソコン教室機器リース料	8,177,400円

4 事業の効果

- ・児童一人一台のタブレットPCを使った学習ができ、電子黒板と連携した新しい授業も展開できることにより、児童が楽しんで学習できる環境が整う。
- ・ICTに精通したサポート員を4人配置することにより、ICTを駆使した授業支援等のサポートにより、教職員の技術向上と適切な保守管理ができる。

区分	平成26年度 当初		会計	一般会計							単位:千円	
款	10	項	2,3	目	2	細事業名	電子黒板整備事業				所属	学校教育課
目 名 称	教育振興費											
目の予算額	123,911					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	23,112					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	157・161	
									19,000	4,112	継 続	
	前年度当初	6,053	前年度最終	6,053								

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成
-------------------------------	---------------	----------------	---------------	---------------

1 目的

県では、ICT利活用教育を全県規模で展開するため、「地域の元気づくり事業費」を活用し、ICT教育に取り組む市町に対し臨時交付金が交付された。財政調整積立基金から当該交付金分を取り崩し、小中学校の普通教室へ電子黒板の整備率100%等を達成させるもの。  
※平成26年度に重点的に整備を行い、県内の市町でも早期に県の目標が達成できる。

2 事業内容

小中学校の普通教室へ電子黒板の整備率100%にするもの。  
小学校50型を23台  
中学校70型を9台

25年度学級数 95  
25年度までの設置数 68  
26年度学級数予定98(特別支援学級含む)  
※不足数30台+クラス変動数2台

※電子黒板整備事業計画

	須古	六角	白石	北明	福富	有東	有西	有南	白中	福中	有中	計	
学級数	通常	6	6	6	12	6	6	6	11	4	6		
	特別	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2		
	計	8	8	9	8	14	8	8	8	13	6	98	
電子黒板数	ユニット	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	13	
	~H24	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	44	
	H25	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	
	H26	2	2	3	2	8	2	2	2	6	1	2	32
	計	9	8	9	8	14	8	8	8	13	7	8	100

26年度の学級編成により、学級数の変動あり

3 予算額

18 備品購入費 23,112千円 電子情報ボード拡張セット購入費  
小 500,000円×23台×1.08=12,420,000円  
中 1,100,000円×9台×1.08=10,692,000円 計 23,112,000円

※財源内訳 財政調整積立基金繰入金 19,000千円

4 事業の効果

県が推進するICTを駆使した授業の展開が取り組めるよう、県下の市町の中でも1番早期に条件整備が整い、児童生徒が興味を引く授業の展開ができ学力向上が期待できる。

区分	平成26年度 当初		会計	一般会計							単位:千円	
款	10	項	2	目	1	細事業名	学校施設改修費(小学校)				所属	学校教育課
目 名 称	学校管理費						財 源 内 訳					予算書頁
目の予算額	174,483					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	154・155	
予 算 額	31,150								20,000	11,150	継 続	
	前年度当初	35,480	前年度最終	35,480								
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち				基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成			
<p>1 目的 町内の小学校施設の適切な維持管理のための改修工事を実施することで、児童の安全を確保するとともに、施設環境の充実に努める。</p> <p>2 事業内容 修繕料 各学校に対応した緊急性の高いものから対応する  六角小他2校 遊具改修 1,000 千円  白石小他4校 プール濾過器用モーター等補修 1,500 千円  北明小他2校 プール飛び込み台撤去(北明・福富・有西) 1,950 千円  各小学校 緊急を要する修繕(60万円×8校) 4,800 千円  委託料  白石小 公共下水道接続工事監理業務委託 500 千円  須古小 外壁等改修工事設計業務委託 3,000 千円  その他 緊急に対応が必要となる工事の設計 200 千円  工事請負費  白石小 公共下水道接続等改修工事 16,200 千円  その他 緊急に対応が必要となる工事 2,000 千円</p> <p>3 予算額  修繕費 9,250 千円  委託料 3,700 千円  工事請負費 18,200 千円</p> <p>4 事業の効果 安全安心な学校施設、より良い教育環境としての整備を図ることと、適切な維持管理により、保護者に安心をあたえ、児童の教育充実及び安全確保が図られる。</p>												

区分	平成26年度 当初		会計	一般会計						単位:千円																																																																														
款	10	項	5	目	3	細事業名	文化活動推進・文化財保護費				所属	生涯学習課																																																																												
目 名 称	文化活動推進・文化財保護費																																																																																							
目の予算額	5,741					財 源 内 訳				予算書頁																																																																														
予 算 額	5,741					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	165~167																																																																													
	前年度当初		3,830		前年度最終	3,830			371		3,150	2,220	継 続																																																																											
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】				基本計画 第 3 節	地域文化の伝承と新たな魅力の創造																																																																															
<p>1 目的 優れた人材への助成及び日本三大歌垣の一つ杵島山の歌垣に因む「三十一文字コンテスト」開催により、地域文化の育成推進と芸術文化の向上を図る。 伝承芸能・文化財の保護と啓発をとおして、白石町の歴史への認識を深め、郷土に対する愛着心と誇りを醸成する。</p> <p>2 事業内容 文化活動推進:九州・全国及び世界的団体が主催する競技大会若しくは研究大会又は表彰式典等への出場者に対し、1人あたり、九州大会では5,000円、全国大会では10,000円、国際大会では50,000円を交付する。ただし、団体においては、10万円を限度とする。 「愛」をテーマとする和歌を全国から募集する「歌垣の里・白石 三十一文字コンテスト」を開催し、入賞53首を選考し表彰する。 文化財保護:開発行為と埋蔵文化財保護との調整を図る。指定文化財の維持管理・公開を委託する。各種文化財の調査及び啓発推進。重要文化財の指定化。 町重要文化財(文書)「稲佐神社文書11通(1巻)」保存修復事業の補助。県史跡龍王崎古墳群6号墳の保存修復事業(3ヶ年継続事業の2年目) 伝統芸能の保存・伝承に必要な不可欠な用具の購入及び修理に要する経費に対し、一団体当たり年度内で10万を限度として、2分の1以内を助成する。</p> <p>3 予算額 5,741千円</p> <table border="0"> <tr> <td>01 報酬</td> <td>126千円</td> <td>文化財保護審議会委員報酬</td> <td>126,000円</td> </tr> <tr> <td>02 賃金</td> <td>129千円</td> <td>作業員賃金</td> <td>128,800円</td> </tr> <tr> <td>08 報償費</td> <td>314千円</td> <td>三十一文字コンテスト選者謝金</td> <td>75,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>三十一文字コンテスト入賞記念品</td> <td>238,500円</td> </tr> <tr> <td>09 旅費</td> <td>27千円</td> <td>文化財保護審議会委員費用弁償</td> <td>21,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>龍王崎古墳群6号墳保存処理指導者旅費</td> <td>6,000円</td> </tr> <tr> <td>11 需用費</td> <td>200千円</td> <td>消耗品費</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>三十一文字コンテスト募集チラシ・入賞歌集印刷費</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td>12 役務費</td> <td>200千円</td> <td>三十一文字コンテスト募集チラシ・選考結果等送料</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>13 委託料</td> <td>1,001千円</td> <td>三十一文字コンテスト掲示板用パネル作成・張替え委託料</td> <td>12,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>指定文化財維持管理委託料(11団体2個人)</td> <td>215,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>指定文化財説明板(3ヶ所)補修委託料</td> <td>41,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>龍王崎古墳群6号墳石室内環境調査委託料</td> <td>495,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>龍王崎古墳群6号墳石室内保存対策実施設計委託料</td> <td>238,000円</td> </tr> <tr> <td>14 使用料及び賃借料</td> <td>172千円</td> <td>埋蔵文化財確認調査用掘削機借上料</td> <td>171,500円</td> </tr> <tr> <td>19 負担金、補助金及び交付金</td> <td>3,572千円</td> <td>文化振興激励費交付金</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>町重要文化財(文書)「稲佐神社文書11通(1巻)」保存修復補助金</td> <td>222,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>伝承芸能保存育成助成金</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>文化振興財団自主事業補助金</td> <td>3,000,000円</td> </tr> </table>													01 報酬	126千円	文化財保護審議会委員報酬	126,000円	02 賃金	129千円	作業員賃金	128,800円	08 報償費	314千円	三十一文字コンテスト選者謝金	75,000円			三十一文字コンテスト入賞記念品	238,500円	09 旅費	27千円	文化財保護審議会委員費用弁償	21,000円			龍王崎古墳群6号墳保存処理指導者旅費	6,000円	11 需用費	200千円	消耗品費	50,000円			三十一文字コンテスト募集チラシ・入賞歌集印刷費	150,000円	12 役務費	200千円	三十一文字コンテスト募集チラシ・選考結果等送料	200,000円	13 委託料	1,001千円	三十一文字コンテスト掲示板用パネル作成・張替え委託料	12,000円			指定文化財維持管理委託料(11団体2個人)	215,000円			指定文化財説明板(3ヶ所)補修委託料	41,000円			龍王崎古墳群6号墳石室内環境調査委託料	495,000円			龍王崎古墳群6号墳石室内保存対策実施設計委託料	238,000円	14 使用料及び賃借料	172千円	埋蔵文化財確認調査用掘削機借上料	171,500円	19 負担金、補助金及び交付金	3,572千円	文化振興激励費交付金	150,000円			町重要文化財(文書)「稲佐神社文書11通(1巻)」保存修復補助金	222,000円			伝承芸能保存育成助成金	200,000円			文化振興財団自主事業補助金	3,000,000円
01 報酬	126千円	文化財保護審議会委員報酬	126,000円																																																																																					
02 賃金	129千円	作業員賃金	128,800円																																																																																					
08 報償費	314千円	三十一文字コンテスト選者謝金	75,000円																																																																																					
		三十一文字コンテスト入賞記念品	238,500円																																																																																					
09 旅費	27千円	文化財保護審議会委員費用弁償	21,000円																																																																																					
		龍王崎古墳群6号墳保存処理指導者旅費	6,000円																																																																																					
11 需用費	200千円	消耗品費	50,000円																																																																																					
		三十一文字コンテスト募集チラシ・入賞歌集印刷費	150,000円																																																																																					
12 役務費	200千円	三十一文字コンテスト募集チラシ・選考結果等送料	200,000円																																																																																					
13 委託料	1,001千円	三十一文字コンテスト掲示板用パネル作成・張替え委託料	12,000円																																																																																					
		指定文化財維持管理委託料(11団体2個人)	215,000円																																																																																					
		指定文化財説明板(3ヶ所)補修委託料	41,000円																																																																																					
		龍王崎古墳群6号墳石室内環境調査委託料	495,000円																																																																																					
		龍王崎古墳群6号墳石室内保存対策実施設計委託料	238,000円																																																																																					
14 使用料及び賃借料	172千円	埋蔵文化財確認調査用掘削機借上料	171,500円																																																																																					
19 負担金、補助金及び交付金	3,572千円	文化振興激励費交付金	150,000円																																																																																					
		町重要文化財(文書)「稲佐神社文書11通(1巻)」保存修復補助金	222,000円																																																																																					
		伝承芸能保存育成助成金	200,000円																																																																																					
		文化振興財団自主事業補助金	3,000,000円																																																																																					
						財源内訳		<table border="1"> <tr> <td>県支出金</td> <td>371千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県文化財保存事業補助金</td> <td></td> <td>371千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,150千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>佐賀県市町村振興協会市町村交付金</td> <td></td> <td>3,000千円</td> </tr> <tr> <td>21世紀人づくり基金繰入金</td> <td></td> <td>150千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,220千円</td> <td></td> </tr> </table>				県支出金	371千円		県文化財保存事業補助金		371千円	その他	3,150千円		佐賀県市町村振興協会市町村交付金		3,000千円	21世紀人づくり基金繰入金		150千円	一般財源	2,220千円																																																												
県支出金	371千円																																																																																							
県文化財保存事業補助金		371千円																																																																																						
その他	3,150千円																																																																																							
佐賀県市町村振興協会市町村交付金		3,000千円																																																																																						
21世紀人づくり基金繰入金		150千円																																																																																						
一般財源	2,220千円																																																																																							
<p>4 事業の効果 地域の文化の向上と活性化を期し、ふるさと白石町の歴史に対する興味関心を醸成し、郷土に対する誇りと愛着心を増進させる。</p>																																																																																								

単位:千円

区分	平成26年度 当初		会計	一般会計							
款	10	項	5	目	4	細事業名	青少年育成費			所属	生涯学習課
目 名 称	青少年育成費										
目の予算額	3,899					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	3,899					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	167
	前年度当初	8,216	前年度最終	8,220			300		3,007	592	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうろおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 5 章	参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】	基本計画 第 1 節	参加と交流の促進
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

1 目的

青少年の健全育成を積極的に推進するために、地域の人たちや関係団体との協力のもと、地域ぐるみで見守り、地域を拠点とした文化活動、野外活動、自然活動を行う。自然の中で、たくましさと自主性を学び、友情を育み、自然体験をとおして子ども達の資質を高める。

2 事業内容

- 放課後子ども教室推進事業 国1/3、県1/3、市町1/3 補助対象経費450千円×2/3=300,000円
  - おおどぼう倶楽部(仮称)・・・町内小学校4～6年生の希望者に、野外活動を中心とした年間10回程度の体験学習活動を行う。
  - ジュニア合唱教室・・・小学生の希望者を対象に、毎月第2第4土曜日、合唱の指導を行う。
  - ボランティア活動・・・過去に元気ZZに参加した、現在中学3年生が対象。白石町のためにボランティア活動を行なう。
- 青少年育成町民会議・・・理事会、総会、研修会等の開催。学校・PTA・老人会・地域の見守り隊への協力、非行防止活動のための防犯パトロールの実施、自主性と異学年間の交流を目的とした通学合宿の実施。青少年育成活動を行なう団体への助成。花いっぱい運動を主体とした環境美化活動。

3 予算額

3 予算額	3,899 千円	
8 報償費	716 千円	指導員謝金 267,000円 講師謝金 449,000円
9 旅 費	1,793 千円	県外研修旅費宿泊費 1,793,000円
11 需用費	660 千円	活動教材・食材費 おおどぼう倶楽部:500,000円 ジュニア合唱教室:70,000円 ボランティア:90,000円
12 役務費	199 千円	傷害保険料 子ども:64,000円 大人:55,900円 通信用切手代 24,000円 郵送料 55,000円
14 使用料及び 賃借料	31 千円	施設及び備品使用料 31,000円
19 負担金補助 及び交付金	500 千円	青少年育成町民会議補助金

放課後子ども教室推進事業

項目	金額
国県費	300 千円
参加料	507 千円
町 費	2,592 千円
合 計	3,399 千円

参加負担金

内 容	金額
おおどぼう	10,000 × 45人 450,000
Jr合唱	500 × 35人 17,500
ボランティア	500 × 80人 40,000
合 計	507,500

4 事業の効果

青少年育成事業をとおし、地元の人たちの指導・協力・サポートによって、白石町子ども達がたくましく元気に育ち、安全で明るい地域づくりができる。子どもたちの生きる力を育み、地域教育力の向上が図られる。また、集団での自然体験を行うことにより、自然の美しさ・厳しさを体感し、自立を促し、社会の一員としての責任感を知り、白石町子どもとしての様々な能力を養う。

単位:千円

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計						
款	10	項	6	目	1	細事業名	町スポーツ大会費			所属	生涯学習課
目 名 称	保健体育総務費										
目の予算額	41,943				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	1,033				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	170~172	
					前年度当初 919 前年度最終 919						

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	基本計画 第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実
-------------------------------	---------------	-------------------------	---------------	---------------

- 1 目的  
町全体規模のスポーツ大会を通じて、健康づくり・体力向上と、町民の親睦融和を図る。「スポーツでまちを元気に、まちがひとつに」
- 2 事業内容  
町全体でのスポーツイベントを開催し、スポーツの振興を広く町民に呼びかける。
- ① 自治公民館対抗男子ソフトボール大会
  - ② 自治公民館対抗女子ソフトバレーボール大会
  - ③ ファミリースポーツディ(総合運動場の開放)

3 予算額			
報償費	謝礼及び謝金	298 千円	
588 千円	賞品代	290 千円	
旅費	費用弁償	28 千円	
28 千円	消耗品費	357 千円	
需用費			
374 千円	医薬材料費	17 千円	
原材料費	原材料費	43 千円	
43 千円			

自治公民館対抗		ファミリースポーツディ
男子ソフトボール大会	女子ソフトバレーボール大会	
報償費 372千円	報償費 176千円	報償費 40千円
—	—	費用弁償 28千円
消耗品費 253千円	消耗品費 101千円	消耗品費 3千円
医薬材料費 17千円		
原材料 43千円	—	—

- 4 事業の効果  
町全体でのスポーツ大会を実施することにより、町民の健康増進と融和を図ることができる。

単位：千円

区分	平成26年度 当初		会計	一般会計							
款	10	項	6	目	1	細事業名	ロードレース大会費 (歌垣の郷ロードレース大会)			所属	生涯学習課
目 名 称	保健体育総務費										
目の予算額	41,943					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	4,700					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	172
									700	4,000	継 続
前年度当初		4,000		前年度最終		4,000					
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 2 節	地域文化の伝承と新たな魅力の創造		
<p>1 目的            地元高校の陸上部女子が2年連続出で全国高等学校駅伝競走大会に出場、町内中学生も県内外の大会で活躍し、町民の駅伝に対する期待と関心が高まっているなか「駅伝の町しろいし」「歌垣の郷しろいし」を全国的に広めるため、歌垣の郷ロードレース大会を開催し、町民の健康増進と町の活性化を図る。平成26年度は、第20回の節目の大会となるので、招待選手を迎え大会をPRするなどの記念事業を催す。            なお、当該事業の財源の一部は、ふるさと寄付金を充当し、個性豊かな人と文化を育むまちづくりに貢献します。</p> <p>2 事業内容            大会開催日：平成27年3月15日(毎年3月第3日曜日開催)            企画・運営：実行委員会形式。11月より3月まで5回の実行委員会を開催。今年度は記念事業検討のため、早めに立ち上げ、開催に備える。            競技種目：日本陸連公認コース10kmの部・5kmの部・3kmの部・2kmの部・ファミリージョギングの部 合計5種目・13競技を開催。            記念事業の中で競技区分を検討する。</p> <p>3 予算額            委託料 4,700 千円 歌垣の郷ロードレース大会委託料 4,700,000 円            (大会運営費(「ふるさと基金」を活用する記念事業開催費700千円を含む。)等)</p> <p>4 事業の効果            競技申込者：第1回・769名 第2回・985名 第3回・1,115名 第4回・1,503名 第5回・2,104名 第6回・2,014名 第7回・2,185名 第8回・2,343名 第9回・2,324名            第10回・2,946名 第11回・2,522名 第12回・2,718名、第13回・2,776名、第14回・2,788名(平成20年度)、第15回・2,701名(平成21年度)            第16回・2,814名(平成22年度) 第17回・2,720名(平成23年度) 第18回・2,784名(平成24年度)            ロードレース大会及び記念大会の事業を実施することにより、参加者を増やし、賞品等で町の特産品を使ったり、パンフレット等を配布し町のPRを行い、白石町で楽しい1日を過ごしてもらい、町の活性化につなげるとともに、町民のスポーツに対する意識も高めることができる。</p>											

単位:千円

区分	平成26年度 当初		会計	一般会計							
款	10	項	6	目	2	細事業名	福富社会体育館改修事業費		所属	生涯学習課	
目 名 称	体育施設管理費										
目の予算額	106,289					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	94,300					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	173
									90,000	4,300	継 続
	前年度当初	8,800	前年度最終	4,800							

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	基本計画 第 2 節	個性豊かで優れた人材の育成
-------------------------------	---------------	-------------------------	---------------	---------------

1 目的 福富社会体育館は、町民の社会体育活動や中学校の授業でも活用され、また白石町防災計画の中では避難所に指定されている社会体育施設である。しかし、昭和48年建築後40年が経過し、屋根スレートの亀裂や外壁の亀裂により雨漏りが発生し、さらに天井部材や内壁部材についても老朽化がみられる。また、平成23年度には、避難所に指定されている事から耐震診断を行ったところ、一部において構造上耐震指標を満足しない箇所が判明した。このような事から、今後においても社会体育施設及び避難所として町民が安全で安心して活用できるよう、耐震工事と改修工事を実施し、施設の長寿命化を図りたい。

- 2 事業内容
- ・ 建 築 年 昭和48年
  - ・ 構 造 鉄骨造り、スレート葺き、2階建て
  - ・ 延 面 積 1,280.5㎡(1階:1,140.5㎡ 2階:140.0㎡)
- 委 託 料
- ・ 工事監理業務委託料
- 工 事 内 容
- ・ 耐震補強 (屋根面ブレース交換 20構面)
  - ・ 改 修 (屋根・外壁・内壁等の改修、玄関スロープの設置)

3 予算額 単位:千円

科目	名称	予算見積額	積算及び内容
委託料	工事監理委託料	4,300	—
工事請負費	工事請負費	90,000	・屋根面ブレース交換 20構面 ・屋根改修 1,213㎡ ・外壁改修 817㎡ ・その他(内壁改修、建具改修、玄関スロープ設置、排水工事等)
合 計	—	94,300	※工事請負費 90,000千円については、公共施設整備基金を充当

4 事業の効果 今回、耐震補強を含めた改修工事を実施する事により施設の長寿命化が図られ、避難所及び社会体育施設として、住民が安全で安心して活用できる。



## 平成26年度当初予算 しろいしみのり枠について

1. しろいしみのり枠の 当初予算の編成方針の中で、平成26年度のみ措置として、下記の目的に合致する経費で、一般経費・特別経費、新規事業・継続事業を問わず事業費  
設定の主旨等 の増額も含めて、しろいしみのり枠(特別枠)を設定し、各課において知恵を絞らだした要求事業の中から、予算編成過程において選定した。

- ①白石町のイメージや知名度を高める
- ②公共施設の統廃合など市町村合併効果を更に高める
- ③将来的な経費を削減させる
- ④その他既存の事業にない、戦略的なもの

(単位:千円)

## 2. 対象事業

予算科目	事業名	新規・継続の 区分	事業費	財源内訳			所属課
				国県支出金	その他	一般財源	
2. 総務費 2. 徴税費	口座振替推進キャンペーン事業	新規	4,789			4,789	税務課
2. 総務費 1. 総務管理費	次世代自動車充電インフラ整備事業	新規	7,156	4,000	2,325	831	企画課
2. 総務費 1. 総務管理費	婚活サポート事業	新規	1,150	900		250	企画課
6. 農林水産業費 1. 農業費	親元就農促進支援事業	新規	2,000			2,000	産業課
6. 農林水産業費 1. 農業費	6次産業推進事業	継続	13,165			13,165	産業課
8. 土木費 1. 土木総務費	住民協働環境整備資材等支給事業	新規	3,000			3,000	土木管理課
8. 土木費 2. 道路橋梁費	役場案内標識設置事業	新規	2,560			2,560	土木管理課
合計			33,820	4,900	2,325	26,595	

単位:千円

区分	平成26年度 当初		会計	一般会計							
款	2	項	2	目	2	細事業名	口座振替推進キャンペーン事業			所属	税務課
目 名 称	賦課徴収費										
目の 予 算 額	19,222					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	4,789 千円					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	66
	前年度当初	0	前年度最終	0	0				4,789	新規	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 5 章		参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】			基本計画 第 2 節		健全な行財政運営の推進		

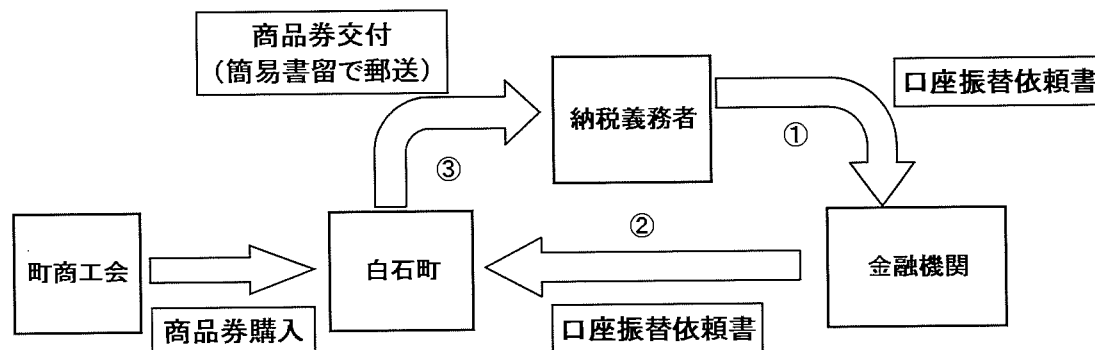
1 目的

口座振替の拡充により、円滑な収納事務の推進と納税者への利便性向上及び納期内納付の促進を目的に、収納率の向上を図る。

2 事業内容

平成26年度中に新規で口座振替の申込みを行った納税義務者に対し、報償金(商品券)を交付するものとする。ただし、対象税目は、集合徴収【住民税(普通徴収に限る)・固定資産税・国民健康保険税】とする。

【イメージ図】



3 予算額

08 報償費	02 商品券購入費	3,445千円	
	・口座振替予定納税義務者(H26. 4~H27. 3)		3,445人
	・商品券購入費	500円*2枚×3,445人分=3,445,000円	
12 役務費	01 通信運搬費	1,344千円	
	・簡易書留郵送料	390円×3,445人分=1,343,550円	

【参考】 口座振替件数状況

年度	月平均件数	対前年度増減
20年度	2,967件	—
21年度	3,056件	89件
22年度	3,096件	40件
23年度	3,252件	156件
24年度	3,383件	131件

4 事業の効果

口座振替は、納付書の印刷において紙の使用量が少ないため環境負荷が少なくなることや、納付書の封入れ作業等事務の簡素化につながり、納期内納付率が高く収納率向上が期待できる。

単位:千円

区分	平成26年度 当初		会計	一般会計							
款	2	項	1	目	8	細事業名	次世代自動車充電インフラ整備事業			所属	企画課
目 名 称	地域づくり推進費										
目の 予算額	36,414					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	7,156					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	58
	前年度当初	0			前年度最終	0	4,000		2,325	831	新規
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 6 章	自然環境と共生するまち【自然環境の保全】				基本計画 第 2 節	環境にやさしいまちづくり		

1 目的

国道など交通量の多い道路に隣接した公共施設に、国の補助制度や自動車会社4社からなる支援制度を利用して急速充電器を設置し、近年増加している電気自動車ユーザーの経路充電や目的地充電を可能とすることで、本町が「環境にやさしいまちづくり」へ取り組んでいることを町内外へアピールする。

2 事業内容

- 1) 事業実施期間 平成26年度～平成34年度
- 2) 事業実施主体 白石町
- 3) 急速充電器の設置
  - ・充電器本体費用+設置工事費用【国:2/3、支援プロジェクト:1/3(上限170万円/基)】
  - ・立ち上げ検査費用【支援プロジェクト:年間上限20万円/基】
- 4) 急速充電器の維持管理 ※設置工事完了時点から8年間(国の規定する保有義務期間)
  - ・維持費用=通信費用+保守メンテナンス契約費用+コールセンター契約費用【支援プロジェクト:年間上限40万円/基】
  - ・電気基本料金【支援プロジェクト:単相200V電源で駆動する充電器を設置し、電気契約が従量電灯契約の場合に限る】
  - ・電力従量料金【支援プロジェクト:充電器利用にかかる電力従量相当額】
  - ・損害保険料【支援プロジェクト:年間上限5千円/基】

3 予算額

需用費	98	電気基本及び従量料金
役務費	38	通信費(カード認証)及び損害保険料
委託料	324	保守・メンテナンス及びコールセンター委託料
工事請負費	6,696	急速充電器設置工事(立ち上げ検査費用含む)

4 事業の効果

急速充電器を設置することにより、白石町総合計画第6章第2節に定めた「環境にやさしいまちづくり」への取り組みを町内外にアピールできるとともに、白石町地域新エネルギービジョン第7章7-2「空気のおいしいまちづくり」プロジェクトに定めたクリーンエネルギー自動車の普及啓発ができる。

単位:千円

区分	平成26年度 当初		会計		一般会計																								
款	2	項	1	目	11	細事業名	婚活サポート事業費			所属	企画課																		
目 名 称	男女共同参画推進費																												
目の予算額	2,686					財 源 内 訳					予算書頁																		
予 算 額	1,150					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	61・62																		
							900			250	新規																		
	前年度当初	0	前年度最終	0																									
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 6 節	人権の尊重																					
1 目的	町内の独身者の未婚化、晩婚化に歯止めをかけ、少子化対策及び定住促進に寄与する。																												
2 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活サポーターを設置し、結婚に関する相談支援等を行う。</li> <li>・婚活推進協議会を設置する。</li> <li>・結婚を望む独身男女に対し、出会いのきっかけとなるイベントの開催、及び結婚に向けてのセミナーを開催し、婚活をサポートする。</li> </ul>																												
3 予算額	<table border="0"> <tr> <td>報償費</td> <td>850千円</td> <td>婚活サポーター謝礼 5,000円×15名×9月=675,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>セミナー講師謝金 175,000円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>50千円</td> <td>消耗品費 50,000円</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助金 及び交付金</td> <td>250千円</td> <td>婚活推進協議会補助金 250,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>イベント開催1回 200,000円 ※別に、県補助金300,000円を利用したイベントを1回開催する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>チラシ制作等 50,000円</td> </tr> </table>											報償費	850千円	婚活サポーター謝礼 5,000円×15名×9月=675,000円			セミナー講師謝金 175,000円	需用費	50千円	消耗品費 50,000円	負担金、補助金 及び交付金	250千円	婚活推進協議会補助金 250,000円			イベント開催1回 200,000円 ※別に、県補助金300,000円を利用したイベントを1回開催する。			チラシ制作等 50,000円
報償費	850千円	婚活サポーター謝礼 5,000円×15名×9月=675,000円																											
		セミナー講師謝金 175,000円																											
需用費	50千円	消耗品費 50,000円																											
負担金、補助金 及び交付金	250千円	婚活推進協議会補助金 250,000円																											
		イベント開催1回 200,000円 ※別に、県補助金300,000円を利用したイベントを1回開催する。																											
		チラシ制作等 50,000円																											
4 事業の効果	婚活をサポートすることにより、成婚数の増加が図れ、少子化対策へ寄与することができる。																												

区分	平成26年度 当初		会計	一般会計						単位:千円	
款	6	項	1	目	2	細事業名	親元就農促進支援事業			所属	産業課
目 名 称	農業総務費										
目の 予算額	118,441					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	2,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	112
	前年度当初	0			前年度最終	0				2,000	新規
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章	活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興			
<p>1 目的</p> <p>農業における後継者は、減少傾向にあるものの、仕事に誇りを持ち、魅力ある職業として営み、地域の担い手として活力のある町づくりに取り組んでいる青年も存在しており、今後さらにそうした青年を数多く育成していく必要がある。町の担い手の減少は、農業振興面のみならず、農村社会においても様々な問題を生じているため、生産性の高い農業の確立と農村地域の活性化を実現するため、地域の実態に即した近代的、企業的な感覚を備えた後継者を確保することにより産業の振興を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1)親元就農促進支援事業給付金  ○給付金の額 1人当たり 250,000円 (但し、5年後の就農継続確認が取れた場合、追加で100,000円助成)  ○交付要件 ① 白石町に住所を有する者  ② 町内で農業経営を行っている認定農業者(1回以上の再認定を受けている者)の2親等以内の直系卑属の者  ③ 就農年(平成26年1月1日以降)の農業従事日数が年間150日以上であること  ④ 申請日における年齢が18歳から45歳未満の者  ⑤ 白石青年実業会に加入しており、積極的に活動を行うもの  ⑥ 農業者年金の加入者  ⑦ 白石町農業施策全般に関して協力的であること</p> <p>3 予算額</p> <p>【歳出】 (1)白石町親元就農促進支援事業 8名 × 250,000円 = 2,000,000円</p> <p style="text-align: right;">2,000,000円</p> <p>4 事業の効果</p> <p>本事業を実施することにより、新規就農者を確保し、後継者の育成を図ることができる。</p>											

単位:千円

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計																																													
款	6	項	1	目	3	細事業名	6次産業推進事業				所属	産業課																																						
目 名 称	農業振興費																																																	
目の 予算額	134,212					財 源 内 訳						予算書頁																																						
予 算 額	13,165					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	112・113																																							
	前年度当初 0 現計予算 322										13,165	継 続																																						
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興																																								
1 目的	平成23年3月「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」(以下、「6次産業化・地産地消法」という。)が施行され、農村地域の活性化や食料の自給率向上などを目的に制定されました。本町産業の基軸である農業を持続し、発展させていくためには、農産物の生産に留まらず、加工や販売も併せた総合産業化を目指し、農家所得の向上や地域の活性化を図る。																																																	
2 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業活性化委員会の開催</li> <li>・6次産業推進補助事業の実施</li> </ul> <p>趣旨 白石町内の農林水産物を活かして、6次産業化(加工、販売まで)する事業者を支援し、産業力の向上と地域活性化を目的とする。</p> <p>対象事業者 町内に在住する農林漁業者(個人、グループ、農業生産法人)及び、農林漁業者と中小企業者との連携で、本町の農林水産物を活用し6次産業化を行う者とする。</p> <p>補助金限度額 1事業あたりの補助金は10万円～200万円を限度とし、補助対象経費の2分の1以内</p> <p>補助対象経費 ①研究開発費 ②事業推進費 ③販路開拓費 ④その他経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工試験器具等の購入 野菜を乾燥し、製粉までの簡易的な器具などの購入</li> </ul>																																																	
3 予算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内容説明</th> <th>予算額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">報償費</td> <td>6次産業活性化委員報償</td> <td>195</td> <td>5,400円×9名×4回</td> </tr> <tr> <td>勉強会講師謝礼</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>普通旅費</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">需用費</td> <td>消耗品費</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>6次産品活用開発業務委託</td> <td>200</td> <td>6次産品を活用したメニュー等開発</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>加工試験器具購入</td> <td>2,320</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>6次産業推進事業費補助金</td> <td>10,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>13,165</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	内容説明	予算額	備 考	報償費	6次産業活性化委員報償	195	5,400円×9名×4回	勉強会講師謝礼	100		旅費	普通旅費	200		需用費	消耗品費	100		印刷製本費	50		委託料	6次産品活用開発業務委託	200	6次産品を活用したメニュー等開発	備品購入費	加工試験器具購入	2,320		負担金、補助及び交付金	6次産業推進事業費補助金	10,000		合 計		13,165	
区 分	内容説明	予算額	備 考																																															
報償費	6次産業活性化委員報償	195	5,400円×9名×4回																																															
	勉強会講師謝礼	100																																																
旅費	普通旅費	200																																																
需用費	消耗品費	100																																																
	印刷製本費	50																																																
委託料	6次産品活用開発業務委託	200	6次産品を活用したメニュー等開発																																															
備品購入費	加工試験器具購入	2,320																																																
負担金、補助及び交付金	6次産業推進事業費補助金	10,000																																																
合 計		13,165																																																
4 事業の効果	地域の資源を活用した農林漁業者等による新事業等の創出や地域の農林水産物の利用促進に関すること等を総合的に推進することで、農林漁業等の振興を図るとともに、地域の活性化を図ることができる。																																																	

単位:千円

区分	平成26年度 当初			会計	一般会計											
款	8	項	1	目	1	細事業名	住民協働環境整備資材等支給事業			所属	土木管理課					
目 名 称	土木総務費						財 源 内 訳			予算書頁						
目の 予算額	118,002						国庫	県費	地方債	その他	一般財源	134				
予 算 額	3,000										3,000	新規				
	前年度当初	0	前年度最終	0	0											
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実						
<p>1 目的 地域住民の生活環境を整備し、住みよい町づくりを推進するため、住民自ら施工する事業に町が資材、機械借上げ料等を支給することにより、地域住民の和と絆を構築し、もってよりよい町づくりに資することを目的とする。</p> <p>2 事業内容 住民が主体となって行う地区内の環境整備事業に対して資材等の補助を行う。</p> <p>○補助対象事業内容</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">補 助 対 象 内 容</th> <th>補 助 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住民自ら施工する生活環境整備事業に対し、町が資材、機械借上料等の補助を行う。 ・町道等の整備 ・水路の整備</td> <td>年間1地区1事業とし、1事業あたり20万円を限度とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 ※ 国、県、町等の補助事業の対象となるものを除く ※ 民地にかかる部分の整備は対象外 ※ クリーンデー等、町の呼びかけにより行う活動については対象外</p> <p>3 予算額</p> <p>19 負担金補助及び交付金      住民協働環境整備資材等支給事業補助金      3,000千円</p> <p>4 事業の効果</p> <p>町内の生活環境施設の小規模な維持管理を住民と協働で行うことにより、環境の改善と地域の活力の増進を図ることができる。</p>													補 助 対 象 内 容	補 助 額	住民自ら施工する生活環境整備事業に対し、町が資材、機械借上料等の補助を行う。 ・町道等の整備 ・水路の整備	年間1地区1事業とし、1事業あたり20万円を限度とする。
補 助 対 象 内 容	補 助 額															
住民自ら施工する生活環境整備事業に対し、町が資材、機械借上料等の補助を行う。 ・町道等の整備 ・水路の整備	年間1地区1事業とし、1事業あたり20万円を限度とする。															

区分	平成26年度 当初				会計	一般会計				単位:千円		
款	8	項	2	目	1	細事業名	役場案内標識設置事業			所属	土木管理課	
目 名 称	道路維持費											
目の予算額	34,144					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	2,560					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	135	
	前年度当初	0			前年度最終	0				2,560	新規	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実		

1 目的

庁舎・町施設への来訪者に対し、よりわかりやすい案内表示を行うため看板を設置する。

2 事業内容

○ 役場案内標識板設置工事 2,560 千円

県道武雄福富線方面からの来訪者用案内看板(県道の歩道部分を占用して設置)

①町道北川廿治線の施工に合わせ、県道武雄福富線から町道への入口付近に設置 2,160千円 形状: W3,600×H780(両面) 地上高=5,300

国道207号方面からの来訪者用案内看板

②町道秀村線 Aコープ南側歩道のガードパイプに設置 100千円 形状: W3,070×H900

③町道築切北川線・秀村線交差点 MIZ薬局前歩道部分に設置 300千円 形状: W2,000×H800 地上高=3,150

3 予算額

15 工事請負費 2,560 千円

4 事業の効果

国県道からの進入口に案内看板を設置することにより、町外からの来訪者にもわかりやすい案内ができる。

※看板図

①県道武雄福富線

②町道秀村線(Aコープ南側歩道ガードパイプ)

③町道築切北川線・秀村線交差点(MIZ薬局南側歩道)





平成26年度過疎対策事業債充当事業一覧

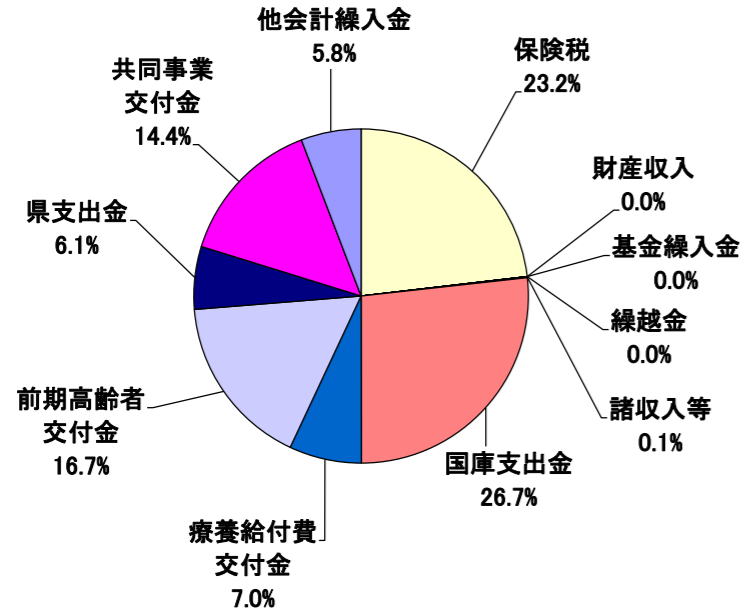
(単位:千円)

過疎債充当事業			事業費	財 源 内 訳					一般財源	備 考	所属課	
会計区分	予算科目	事業名		国庫	県費	過疎債	下水道事業債	その他				
一般会計	6.農業費 1.農業費	地盤沈下対策事業負担金	36,000			36,000			0		農村整備課	
	6.農業費 1.農業費	基幹水利施設ストックマネジメント事業	13,000			13,000			0			
	6.農業費 1.農業費	地域農業水利施設ストックマネジメント事業	55,608		31,500	8,000		4,750	11,358			
	6.農業費 3.水産業費	新有明漁港整備事業	54,972	25,000	5,563	17,000		1,936	5,473			
	8.土木費 2.道路橋梁費	道路新設改良費	68,968			67,000			1,968		建設課	
	8.土木費 2.道路橋梁費	社会資本整備総合交付金事業	142,685	82,620		59,000			1,065			
	①ハード分計			371,233	107,620	37,063	200,000		6,686	19,864		
	2.総務費 1.総務管理費	コミュニティタクシー運行事業	15,793			15,000			793	ソフト事業	企画課	
	3.民生費 1.社会福祉費	敬老の日記念事業	21,078			5,000			16,078	ソフト事業	長寿社会課	
	3.福祉費 1.社会福祉費	緊急通報体制等整備事業	1,944			1,000			944	ソフト事業		
	4.衛生費 1.保健衛生費	地域医療体制事業	5,624			5,000			624	ソフト事業		
	4.衛生費 1.保健衛生費	こどもの医療事業費	47,548		23,673	23,000		201	674	ソフト事業	保健福祉課	
	4.衛生費 1.保健衛生費	小学生・中学生医療事業費	20,400			20,000			400	ソフト事業		
	7.商工費 1.商工費	まちおこし事業	6,200			6,000			200	ソフト事業	産業課	
	②ソフト分計			118,587		23,673	75,000		201	19,713		
	合計(①+②)			489,820	107,620	60,736	275,000		6,887	39,577		
	特別会計	1.公共下水道費 1.公共下水道施設整備	特定環境保全公共下水道施設整備費	961,830	410,000		266,000	266,100	19,730	0		下水道課
	総合計			1,644,385	517,620	108,082	665,000	266,100	27,019	60,564		

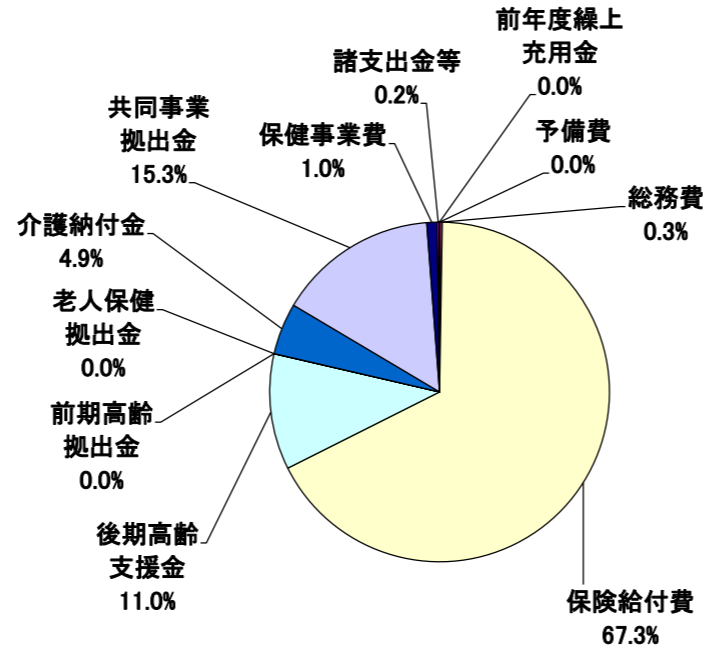
# 平成26年度 白石町国民健康保険特別会計歳入歳出予算の概要

白石町住民課 保険係

## 歳入



## 歳出



平成26年度の国民健康保険特別会計の概要を説明します。

近年の医療費の増嵩と後期高齢者医療や介護保険への支出金の伸びに加え、基金が枯渇したことで健全な国保運営ができなくなり、一般会計から財政支援を受け運営してきましたが、増え続ける医療費に対応するため、保険料率を改定し平成25年度から施行しました。

さらに、税率改定だけでは収入不足を補うことができないため、一般会計から8千万円の財政補填を受けて健全な財政運営を図りたいと考えております。

歳入では、保険税が853,930千円、歳入全体の23.2%を占める貴重な自主財源となっています。保険税の算定に当たっては、農業所得を対前年度比90%と見込み、農業以外の所得においては前年同様と見込んで予算計上しています。

他の主な財源としては、

①国庫支出金は986,091千円で歳入の26.7%を占め、その内訳は、保険給付費の約30%を賄う療養給付費等負担金が733,369千円、高額医療共同事業負担金が25,992千円、平成20年度から実施された特定健診・特定保健指導に伴う負担金が3,091千円と、保険者の財政の運営状況により交付される財政調整交付金は223,639千円です。

②退職者医療制度の対象者の給付に充てる療養給付費交付金は258,257千円、前期高齢者(65歳～74歳)の加入割合に応じて交付されます前期高齢者交付金は617,935千円です。

③共同事業交付金531,308千円については、レセプト1件20万円以上の医療費を対象とする保険財政共同安定化事業交付金が、447,655千円、レセプト1件80万円以上の医療費を対象とする高額医療費共同事業交付金が83,653千円です。

④他会計繰入金の214,446千円については、自営業者の他、年金受給者といった低所得者の保険税軽減相当額を公費(国、県、町)で補填する保険基盤安定繰入金、77,000千円、低所得者、病床数、高齢者が多いといった事情で交付される財政安定化支援事業繰入金15,000千円、出産育児一時金繰入金が14,000千円です。また、平成23年度まで赤字補填額として繰り入れておりました財政補填繰入金を80,000千円計上しています。

以上のように、各種補助金・交付金は、法に定める方法で算定していますが、保険給付費支払準備積立基金については、平成20年度から積立ができず、翌年度からは枯渇した状況となっています。

歳出では、保険給付費は、2,484,717千円で歳出の67.3%を占めています。保険給付費の推計については、昨年度までの実績に基づき、一人当たりの医療費を算出し、推定の被保険者数を乗じて見込んでいます。

他の主な支出としては、

①後期高齢者支援金は、佐賀県の後期高齢者医療制度に加入する被保険者の医療費全体の約4割を賄うこととされ、白石町国保では歳出の11.0%を占め、406,492千円です。

②介護納付金は、平成12年度から始まった制度ですが、本年度の予算額は、180,988千円で計上しています。

③共同事業拠出金の内訳は、県内市町国保間の保険料の平準化や財政の安定化を図ることを目的とした保険財政共同安定化事業拠出金は459,062千円で、高額医療費共同事業医療費拠出金は103,970千円で引き続き実施されます。

④保健事業費は総額36,259千円を計上し、20年度から開始された特定健診・特定保健指導を積極的に行うとともに、年齢の制約で受診対象外である30歳代の被保険者についても、昨年度に引き続き実施することとしています。

また、24年度から脳ドックに人間ドックを加えて実施しており、受診者数400名を確保しながら、特定健診を同時実施することにより、受診率の向上、そして、被保険者の更なる健康増進を図る計画であります。

歳入(H26は当初予算、H23、24は決算、H25は決算見込み)

単位:千円

区分	平成26年度の自主財源 (25.3%)										平成26年度の依存財源 (74.7%)										合計		単年度収支額		
	保険税		財産収入		基金繰入金		繰越金		諸収入等		国庫支出金		療養給付費交付金		前期高齢者交付金		県支出金		共同事業交付金(連合会交付金)		他会計繰入金				
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率			
26	853,930	-5.0%	2		1		2		3,981	-4.1%	986,091	21.5%	258,257	15.3%	617,935	2.2%	224,047	23.6%	531,308	2.1%	214,446	-0.2%	3,690,000	6.7%	0
25	898,576	13.3%	0		0		0		4,151	-66.9%	811,625	-17.3%	223,931	8.3%	604,665	11.3%	181,275	-11.4%	520,543	-6.2%	214,983	73.2%	3,459,749	1.1%	-68,727
24	793,433	-11.9%	0		0		0		12,534	75.1%	981,154	14.0%	206,826	11.5%	543,152	-12.1%	204,560	38.8%	554,837	10.9%	124,092	-0.9%	3,420,588	2.3%	-85,869
23	900,341		0		0		0		7,157		860,458		185,515		617,713		147,349		500,223		125,224		3,343,980		-107,904

歳出(H26は当初予算、H23、24は決算、H25は決算見込み)

区分	総務費		保険給付費		後期高齢者支援金		前期高齢者拠出金		老人保健拠出金		介護納付金		共同事業拠出金		保健事業費		諸支出金		予備費		前年度繰上充用金		合計	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
26	9,446	6.1%	2,484,717	5.9%	406,492	3.2%	645	63.7%	65	261.1%	180,988	-4.8%	563,033	11.4%	36,259	43.7%	8,354	-85.9%	1		0		3,690,000	-0.9%
25	8,900	-2.7%	2,345,557	0.2%	394,013	5.3%	394	4.2%	18	-72.7%	190,019	5.5%	505,198	-6.1%	25,241	2.5%	59,136	50.8%	0		193,773	79.6%	3,722,249	3.0%
24	9,143	2.5%	2,340,833	0.1%	374,248	7.9%	378	-63.3%	66	187.0%	180,138	5.2%	537,806	4.8%	24,635	36.4%	39,210	-0.8%	0		107,904		3,614,361	4.7%
23	8,916		2,338,258		346,989		1,031		23		171,227		513,195		18,056		39,533		0		14,656		3,451,884	

区分	平成26年度 当初		会計	国民健康保険特別会計		単位:千円					
款	1	項	1	目	1・2	細事業名	国民健康保険税(歳入)			所属	住民課
目 名 称	一般被保険者・退職被保険者国民健康保険税										
目の予算額	853,930					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	853,930					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	9
	前年度当初	927,020	前年度最終	905,480						853,930	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 5 節	社会保障の充実			

1 目的

国民健康保険税は、国民健康保険を運営する市町村が、運営するために必要な費用に充てるため、被保険者の属する世帯の世帯主に対して賦課する税金であり、分類上は地方税、直接税、目的税に該当する。現在、被保険者相互扶助のための医療給付費分、後期高齢者の負担を軽減するための後期高齢者支援金分、介護保険制度運営のための介護納付金分の3区分で賦課されている。

2 事業内容

平成25・26年度比較

区 分		A 平成25年度	B 平成26年度	B-A	B/A	
一般被保険者	現年	医療給付費分	579,000	531,000	△48,000	91.71%
		後期支援金分	152,000	157,000	5,000	132.29%
		介護納付金分	93,000	77,000	△16,000	82.80%
	過年	医療給付費分	29,000	22,000	△7,000	75.86%
		後期支援金分	5,900	5,200	△700	88.14%
		介護納付金分	4,900	3,800	△1,100	77.55%
計		863,800	796,000	△67,800	92.15%	
退職被保険者	現年	医療給付費分	40,000	36,000	△4,000	90.00%
		後期支援金分	10,000	11,000	1,000	110.00%
		介護納付金分	12,000	10,000	△2,000	83.33%
	過年	医療給付費分	800	600	△200	75.00%
		後期支援金分	180	150	△30	83.33%
		介護納付金分	240	180	△60	75.00%
計		63,220	57,930	△5,900	91.63%	
合 計		927,020	853,930	△73,090	92.12%	

平成26年度国民健康保険税の状況

平成26年度国保税の算定に当たっては、平成25年の被保険者所得の減を見込み、予算額としては、対前年度比7.88%減と算定した。

国保世帯数及び被保険者数の状況

	世帯数	被保険者数
A H25年10月	3,640世帯	7,581人
B H24年10月	3,689世帯	7,795人
A-B	△49世帯	△214人

保険税率等

	所得割	均等割	平等割	課税限度額
医療給付費分	9.0%	23,000円	33,000円	51万円
後期高齢者支援金分	2.9%	7,000円	8,200円	16万円
介護納付金分	2.2%	10,300円	7,000円	14万円

区分	平成26年度 当初		会計	国民健康保険特別会計		単位:千円					
款	3	項	1	目	1・2	細事業名	後期高齢者支援金・関係事務費拠出金		所属	住民課	
目 名 称	後期高齢者支援金・関係事務費拠出金										
目の予算額	406,492					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	406,492					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	24
	前年度当初	415,565	前年度最終	394,064		158,512	28,452			219,528	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 5 節	社会保障の充実			

1 目的

後期高齢者の医療費負担を軽減するため、若年層がその財源の一部を負担することにより、またその事務費を拠出することにより高齢者医療制度の円滑な運営を図る。

2 事業内容

75歳以上の高齢者を対象に後期高齢者医療制度が平成20年度に導入され、その医療費の負担構成は、国、県、市町村が50%、健康保険組合、協会けんぽ、公務員共済、国民健康保険等の保険者が40%、75歳以上の高齢者自身が10%となっている。このうち保険者が負担する拠出金を後期高齢者支援金といい、平成26年度当初において対前年度比2.18%の減を見込み計上した。

3 予算額

歳出

区 分	拠出金額	説 明		
後期高齢者支援金	406,459	一人当たり支援金 52,514円	× 加入者数 7,740人	= 支援金額 406,458,360円
後期高齢者関係事務費 拠出金	33	一人当たり支援金 4.2円	× 加入者数 7,740人	= 支援金額 32,508円
合 計	406,492			

歳入

財 源	財源額	説 明
国庫支出金	158,512	療養給付費負担金の一部
県支出金	28,452	県調整交付金の一部を充当
一般財源	219,528	
合 計	406,492	

区分	平成26年度 当初			会計	国民健康保険特別会計			単位:千円																																						
款	8	項	1	目	1. 2. 3	細事業名	保健衛生普及費・疾病予防費・健康指導事業費			所属	住民課																																			
目 名 称	保健衛生普及費・疾病予防費・健康指導事業費																																													
目の予算額	10,928									予算書頁																																				
予 算 額	10,928					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	27・28																																			
	前年度当初	12,545	前年度最終	12,545			1,100			9,828	継 続																																			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 5 節	社会保障の充実																																				
<p>1 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費通知事業費・・・被保険者へ医療費の額の通知を行うことにより、医療費の仕組みなどに関心を持ってもらい、ひいては医療費の節減を図る。</li> <li>・保健広報事業・・・国民健康保険制度のパンフレットや、国保だよりを使って広報することにより、国保資格の取得喪失の適正な届け出や制度改正等のお知らせをする。</li> <li>・レセプト点検事業費・・・診療報酬の適正な請求に資するため、レセプト点検事業を実施し、医療費の適正化に寄与する。</li> <li>・人間ドック等事業費・・・人間ドック、脳ドック健診を実施することにより、普段気がつきにくい疾患や臓器の異常や健康状態などをチェックすることができ、専門的な診断により、被保険者自らの健康に関する理解が深まる。また、生活習慣病等の疾病を早期発見、早期治療することにより、病状の重症化を防ぎ、住民の健康増進を図る。</li> </ul> <p>2 事業内容</p> <p>医療費通知 対象世帯数 3,700世帯 回数 4回 出力単価 13.9円  レセプト点検 例月点検 12回 縦覧点検 年4回(7月、11月、3月) 適宜必要なレセプトの抽出</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ドック検査内容</th> <th>実施期間</th> <th>対象者及び対象人数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳ドック 頭部MRI検査、頸動脈超音波検査、頸椎X線撮影 人間ドック 身体計測、血液、がん、腹部超音波検査他</td> <td>5月～2月</td> <td>対象者 30歳～74歳の国保被保険者 対象人数 脳ドック250名 人間ドック150名</td> <td>個人負担金(健診費用の3割) 脳ドック分 6,300円 人間ドック分 10,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 予算額</p> <p>歳出</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業費</th> <th>説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>521</td> <td>・広報パンフレット等印刷代 ・レセプト点検消耗品費 ・国保だより印刷代 ・事務用品費 ・エイズパンフレット印刷代</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>1,214</td> <td>・医療費通知郵送料</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>9,193</td> <td>・医療費通知出力委託料 ・レセプト点検委託料 ・人間ドック・脳ドック委託料</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,928</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>歳入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業費</th> <th>説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県支出金</td> <td>1,100</td> <td>財政調整交付金(2種交付金) 1,100,000円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>9,828</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,928</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												ドック検査内容	実施期間	対象者及び対象人数	備 考	脳ドック 頭部MRI検査、頸動脈超音波検査、頸椎X線撮影 人間ドック 身体計測、血液、がん、腹部超音波検査他	5月～2月	対象者 30歳～74歳の国保被保険者 対象人数 脳ドック250名 人間ドック150名	個人負担金(健診費用の3割) 脳ドック分 6,300円 人間ドック分 10,500円	区分	事業費	説 明	需用費	521	・広報パンフレット等印刷代 ・レセプト点検消耗品費 ・国保だより印刷代 ・事務用品費 ・エイズパンフレット印刷代	役務費	1,214	・医療費通知郵送料	委託料	9,193	・医療費通知出力委託料 ・レセプト点検委託料 ・人間ドック・脳ドック委託料	計	10,928		区分	事業費	説 明	県支出金	1,100	財政調整交付金(2種交付金) 1,100,000円	一般財源	9,828		計	10,928	
ドック検査内容	実施期間	対象者及び対象人数	備 考																																											
脳ドック 頭部MRI検査、頸動脈超音波検査、頸椎X線撮影 人間ドック 身体計測、血液、がん、腹部超音波検査他	5月～2月	対象者 30歳～74歳の国保被保険者 対象人数 脳ドック250名 人間ドック150名	個人負担金(健診費用の3割) 脳ドック分 6,300円 人間ドック分 10,500円																																											
区分	事業費	説 明																																												
需用費	521	・広報パンフレット等印刷代 ・レセプト点検消耗品費 ・国保だより印刷代 ・事務用品費 ・エイズパンフレット印刷代																																												
役務費	1,214	・医療費通知郵送料																																												
委託料	9,193	・医療費通知出力委託料 ・レセプト点検委託料 ・人間ドック・脳ドック委託料																																												
計	10,928																																													
区分	事業費	説 明																																												
県支出金	1,100	財政調整交付金(2種交付金) 1,100,000円																																												
一般財源	9,828																																													
計	10,928																																													

単位:千円

区分	平成26年度 当初		会計	国民健康保険特別会計								
款	8	項	2	目	1	細事業名	特定健康診査・特定保健指導・30歳代健康診査事業			所属	住民課	
目 名 称	特定健康診査等事業費											
目の 予算額	25,331					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	25,331					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	28・29	
	前年度当初	26,121	前年度最終	26,121		3,091	3,091		412	18,737	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 5 節	社会保障の充実			
<p>1 目的 老人保健法による住民基本健診に代わり、平成20年度から高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健診及び特定保健指導が開始された。また、特定健診で得られたデータを用い、特定保健指導対象者の選定と階層化を行い、メタボリックシンドローム等生活習慣病の予防を目指す。</p> <p>2 事業内容 ◎対象者：30歳以上74歳以下(75歳以上は後期高齢者となり、医療機関での個別健診となる。30歳代は集団健診時のみ実施。) ◎集団健診個人負担：生活保護家庭を除き一律1,000円、武雄杵島地区医師会へ徴収委託を行う。(健診委託料と相殺) ◎個別健診個人負担：生活保護家庭を除き一律1,500円、健診機関にて徴収する。(健診委託料と相殺) ◎特定健診の実施時期 集団検診は、7月3日～17日(12日間)、9月5日～10月3日(6日間)、個別健診は、4月1日～3月31日</p> <p>3 予算額</p>												
区 分	事業費		説 明									
賃 金	976		・特定健診等日々雇用職員賃金 ・特定保健指導賃金									
報償費	438		・特定保健指導(健康教育)医師謝礼 ・特定保健指導(健康教育)健康運動指導師謝礼									
需用費	1,162		消耗品費 ・特定診査分 受診券、特定健診調査票、封筒他 ・保健指導分 健康手帳記録カード、健康管理ファイル、保健指導用パンフレット他 ・30歳代分 受診券、健診調査票、健診結果等郵送料									
役務費	1,671		通信運搬費 特定健診受診券、受診票、結果、指導通知等郵送料									
委託料	20,877		・集団健診委託料、個別健診委託料、その他健診、健診データ作成管理業務委託料 ・特定保健指導委託料 積極的支援、動機的支援等 ・30歳代健診委託料 集団健診委託料、肝炎ウィルス検査委託料等									
使用料及び賃借料	134		健診会場、空調設備使用料、特定健診システムリース料									
負担金補助及び交付金	73		佐賀県保健指導支援ステーション負担金									
計	25,331											

単位:千円

区分	平成26年度 当初	会計	後期高齢者医療特別会計							
款	2	項	1	目	1	細事業名	後期高齢者医療広域連合納付金	所属	住民課	
目 名 称	後期高齢者医療広域連合納付金									
目の予算額	317,732					財 源 内 訳			予算書頁	
予 算 額	317,732					国庫	県費	地方債	その他	一般財源
									317,732	0
	前年度当初	298,869	前年度最終	297,385						

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 5 節	社会保障の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	---------

1 目的 後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律により、国民の共同連帯の理念に基づき高齢者の適切な医療の給付等を行い、国民保険の向上及び高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。後期高齢者医療制度の被保険者は、75歳以上と65歳以上の障害認定を受けている者で、医療の給付等に関しても老人保健法に基づく医療と同様の診療が受けられる。

町は、後期高齢者医療制度の事務を処理する特別会計の設置、広域連合の経費負担、保険基盤安定制度の負担、保険料の徴収と広域連合への納付。被保険者の資格・給付等に関する申請・届出の受付など処理している。

2 事業内容

項 目	金 額	説 明
保 険 料	189,912	保険料は、均等割額 51,800円、所得割 9.88%
		白石町分賦課総額 302,596千円ー保険基盤安定負担対象額 112,238千円=190,358千円 (実賦課見込額)
		特別徴収分 152,286 実賦課額の約8割:実賦課額190,358千円×0.80×徴収率100%
		普通徴収分 37,310 実賦課額の約2割:実賦課額190,358千円×0.20×徴収率98%
計	189,596	
過年度分 316		滞納額550,000×徴収率57.5%
3 予算額 保険基盤安定負担金	112,238	町負担(1/4) 28,059 負担金対象額112,238千円 (102,629千円+9,609千円)
		県負担(3/4) 84,179 低所得者軽減分+被扶養者
		○県負担分は、一般会計で収入後、町負担分と合わせて特別会計へ繰り出し、広域連合へ納付
広域連合共通経費 (一般会計分)	6,547	広域連合運営経費(職員人件費、議会費他) 均等割(10%)922千円+人口割(45%)2,463千円+高齢者人口割(45%)3,160千円 (県広域連合計 184,479千円の約3.55%) 6,547千円
広域連合共通経費 (特別会計分)	7,362	運営経費(電算システム運営費、レセプト点検等) 均等割(10%) 1,037千円+人口割(45%)2,770千円+高齢者人口割(45%) 3,554千円 (県広域連合計 207,446千円の約3.55%) 7,362千円
	1,673	被保険者証郵送代実費負担金 1,673千円
計	317,732	

4 事業の効果 医療制度の円滑な運営に寄与する。

区分	平成26年度 当初		会計	農業集落排水特別会計		単位:千円																				
款	3	項	1	目	1	細事業名	農業集落排水機能強化事業			所属	下水道課															
目 名 称	農業集落排水事業費																									
目の予算額	4,200					財 源 内 訳																				
予 算 額	4,200					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	15															
	前年度当初	0	前年度最終	0		2,000			2,200		新 規															
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実																		
<p>1 目的</p> <p>供用開始後13年を超える牛屋地区農業集落排水施設について、経年劣化による施設の摩耗及び腐食等の対策及び機能強化工事を実施し、施設の長寿命化や事業の効率的な運営を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>平成27年度の設計書作成に向けて、事業の採択・計画書の作成を行う。</p> <p>3 予算額</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>区 分</th> <th>項 目</th> <th>事業費</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>委託料</td> <td>農業集落排水機能強化事業(牛屋地区)</td> <td>4,200</td> <td>牛屋地区</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計</td> <td>4,200</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 事業の効果</p> <p>施設の長寿命化や事業の効率的な運営が図れる。</p>												節	区 分	項 目	事業費	摘 要	13	委託料	農業集落排水機能強化事業(牛屋地区)	4,200	牛屋地区	計			4,200	
節	区 分	項 目	事業費	摘 要																						
13	委託料	農業集落排水機能強化事業(牛屋地区)	4,200	牛屋地区																						
計			4,200																							



単位:千円

区分	平成26年度 当初		会計	特定環境保全公共下水道特別会計																																					
款	3	項	1	目	1	細事業名	特定環境保全公共下水道施設整備費			所属	下水道課																														
目 名 称	公共下水道施設整備費																																								
目の 予算額	961,830					財 源 内 訳				予算書頁																															
予 算 額	961,830					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	17																														
	前年度当初 1,018,059 前年度最終 1,017,824					410,000		532,100	19,730	0	継 続																														
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 2 節		生活基盤の充実																																
1 目的	公共用水路の水質汚濁については各家庭等から排出される生活排水が大きな原因の一つになっているため、下水道の整備を行うことにより生活環境の改善と公共用水域の水質保全及び公衆衛生の向上に寄与する。																																								
2 事業内容	<p>第1期事業認可区域            ○事業予定期間・・・H20～H26(7年間)    ○面積・・・89ha    ○計画処理人口・・・3,900人    ○排除方式 分流式    ○計画処理能力1,400m<sup>3</sup>/日</p> <p>○本年度の主な事業 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>工種等</th> <th>補助</th> <th>単独</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>マンホールポンプ設置実施設計</td> <td>2,000</td> <td>1,000</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>(幹線・支線管路布設工事)</td> <td>774,000</td> <td>108,000</td> <td>882,000</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>(MP設置、緊急警報システム設置工事)</td> <td>39,000</td> <td>0</td> <td>39,000</td> </tr> <tr> <td>補償補填及び賠償金</td> <td>(水道管移設等)</td> <td>5,000</td> <td>5,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計</td> <td>820,000</td> <td>114,000</td> <td>934,000</td> </tr> </tbody> </table>											節	工種等	補助	単独	計	委託料	マンホールポンプ設置実施設計	2,000	1,000	3,000	工事請負費	(幹線・支線管路布設工事)	774,000	108,000	882,000	工事請負費	(MP設置、緊急警報システム設置工事)	39,000	0	39,000	補償補填及び賠償金	(水道管移設等)	5,000	5,000	10,000	事業費計		820,000	114,000	934,000
節	工種等	補助	単独	計																																					
委託料	マンホールポンプ設置実施設計	2,000	1,000	3,000																																					
工事請負費	(幹線・支線管路布設工事)	774,000	108,000	882,000																																					
工事請負費	(MP設置、緊急警報システム設置工事)	39,000	0	39,000																																					
補償補填及び賠償金	(水道管移設等)	5,000	5,000	10,000																																					
事業費計		820,000	114,000	934,000																																					
3 予算額	(単位:千円)																																								
							左の財源内訳																																		
区 分	事業費	事務費・人件費	計		交付金	起債	繰入金	負担金																																	
国庫補助事業	820,000	0	820,000		410,000	395,700	749	13,551																																	
単独事業	114,000	27,830	141,830		0	136,400	5,430	0																																	
計	934,000	27,830	961,830		410,000	532,100	6,179	13,551																																	
4 事業の効果	潤いのある水環境を守ることにより、安全かつ安心な食料の提供と生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が図られ、より快適で豊かなまちづくりに貢献できる。																																								

区分	平成26年度 当初		会計	水道事業会計		単位:千円																																																																																	
款	41資本的支出	項	01建設改良費	目	01設備工事費	細事業名	水道管管網整備事業				所属	水道課																																																																											
目 名 称	01設備工事費						財 源 内 訳				予算書頁																																																																												
目 の 予 算 額	83,600					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	34																																																																												
予 算 額	80,000									80,000	継 続																																																																												
前年度当初		120,000		前年度最終		120,000																																																																																	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実																																																																															
<p>1 目的</p> <p>① 道路改良工事及び下水道工事の進捗に合わせた配水管布設替等工事をおこない工事コストの縮減と管網の整備充実を図る。</p> <p>② 長期使用の老朽管を更新することにより、漏水・赤水等の防止をおこない、安定した水の供給と有収率の向上を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>【設備工事費】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 国道207号(海童橋)道路拡幅改良工事に伴う配水管布設替工事</td> <td>φ100</td> <td>L=320m</td> <td>DCIP-NS、PE、RRVP-L</td> <td>1. DCIP-NS</td> </tr> <tr> <td>2 国道207号(竜王線～海童橋)道路拡幅改良工事に伴う配水管布設替工事</td> <td>φ75</td> <td>L=350m</td> <td>RRVP-L</td> <td>水道用ダクタイル鑄鉄管(NS形)</td> </tr> <tr> <td>3 県道武雄福富線(六角支所前)配水管布設替工事</td> <td>φ100、75</td> <td>L=120m</td> <td>DCIP-NS、RRVP-L</td> <td>2. DCIP-GX</td> </tr> <tr> <td>4 町道廻里津中学校線～戸ヶ里大和線配水管布設替工事</td> <td>φ50</td> <td>L=200m</td> <td>RRVP-L</td> <td>水道用ダクタイル鑄鉄管(GX形)</td> </tr> <tr> <td>5 町道新村線配水管布設替工事</td> <td>φ75</td> <td>L=230m</td> <td>RRVP-L</td> <td>3. PE</td> </tr> <tr> <td>6 町道中郷揚田線道路改良工事に伴う水管橋架替工事</td> <td>φ100</td> <td>L=30m</td> <td>DCIP-NS</td> <td>水道配水用ポリエチレン管</td> </tr> <tr> <td>7 町道廻里津大和線(有島病院南)配水管布設替工事</td> <td>φ100</td> <td>L=150m</td> <td>RRVP-L</td> <td>4. DCIP-K</td> </tr> <tr> <td>8 農道有明第四18、19号線配水管布設替工事</td> <td>φ50</td> <td>L=350m</td> <td>RRVP-L</td> <td>水道用ダクタイル鑄鉄管(K形)</td> </tr> <tr> <td>9 町道古賀辺田線地盤沈下対策事業に伴う配水管布設替工事</td> <td>φ100</td> <td>L=300m</td> <td>RRVP-L</td> <td>5. RRVP-L</td> </tr> <tr> <td>10 農道有明第一15、111号線配水管布設替工事</td> <td>φ50</td> <td>L=370m</td> <td>RRVP-L</td> <td>水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管</td> </tr> <tr> <td>11 町道東郷廿治線配水管布設替工事</td> <td>φ75</td> <td>L=360m</td> <td>PE、RRVP-L</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12 町道深通福吉配水管布設替工事</td> <td>φ75</td> <td>L=100m</td> <td>RRVP-L</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 町道福田横手線配水管布設替工事</td> <td>φ75</td> <td>L=20m</td> <td>PE</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14 町道太原外搦線配水管布設替工事</td> <td>φ50</td> <td>L=150m</td> <td>RRVP-L</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15 町道横手第3号線連絡配水管布設工事</td> <td>φ100</td> <td>L=160m</td> <td>PE</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">L=3210m</p> <p>(注)事業個所、延長については現時点での予定工事量であり、国県道、町道改良工事、下水道工事等の進捗により、変更を伴う。</p> <p>3 予算額 80,000千円</p> <p>4 事業の効果 道路改良工事等と同時施工することにより、工事コストの省力化を図りながら、老朽管更新等の進捗率を高め、併せて漏水防止等の解消を行い、安全で安定した水の供給を行う。</p>													1 国道207号(海童橋)道路拡幅改良工事に伴う配水管布設替工事	φ100	L=320m	DCIP-NS、PE、RRVP-L	1. DCIP-NS	2 国道207号(竜王線～海童橋)道路拡幅改良工事に伴う配水管布設替工事	φ75	L=350m	RRVP-L	水道用ダクタイル鑄鉄管(NS形)	3 県道武雄福富線(六角支所前)配水管布設替工事	φ100、75	L=120m	DCIP-NS、RRVP-L	2. DCIP-GX	4 町道廻里津中学校線～戸ヶ里大和線配水管布設替工事	φ50	L=200m	RRVP-L	水道用ダクタイル鑄鉄管(GX形)	5 町道新村線配水管布設替工事	φ75	L=230m	RRVP-L	3. PE	6 町道中郷揚田線道路改良工事に伴う水管橋架替工事	φ100	L=30m	DCIP-NS	水道配水用ポリエチレン管	7 町道廻里津大和線(有島病院南)配水管布設替工事	φ100	L=150m	RRVP-L	4. DCIP-K	8 農道有明第四18、19号線配水管布設替工事	φ50	L=350m	RRVP-L	水道用ダクタイル鑄鉄管(K形)	9 町道古賀辺田線地盤沈下対策事業に伴う配水管布設替工事	φ100	L=300m	RRVP-L	5. RRVP-L	10 農道有明第一15、111号線配水管布設替工事	φ50	L=370m	RRVP-L	水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管	11 町道東郷廿治線配水管布設替工事	φ75	L=360m	PE、RRVP-L		12 町道深通福吉配水管布設替工事	φ75	L=100m	RRVP-L		13 町道福田横手線配水管布設替工事	φ75	L=20m	PE		14 町道太原外搦線配水管布設替工事	φ50	L=150m	RRVP-L		15 町道横手第3号線連絡配水管布設工事	φ100	L=160m	PE	
1 国道207号(海童橋)道路拡幅改良工事に伴う配水管布設替工事	φ100	L=320m	DCIP-NS、PE、RRVP-L	1. DCIP-NS																																																																																			
2 国道207号(竜王線～海童橋)道路拡幅改良工事に伴う配水管布設替工事	φ75	L=350m	RRVP-L	水道用ダクタイル鑄鉄管(NS形)																																																																																			
3 県道武雄福富線(六角支所前)配水管布設替工事	φ100、75	L=120m	DCIP-NS、RRVP-L	2. DCIP-GX																																																																																			
4 町道廻里津中学校線～戸ヶ里大和線配水管布設替工事	φ50	L=200m	RRVP-L	水道用ダクタイル鑄鉄管(GX形)																																																																																			
5 町道新村線配水管布設替工事	φ75	L=230m	RRVP-L	3. PE																																																																																			
6 町道中郷揚田線道路改良工事に伴う水管橋架替工事	φ100	L=30m	DCIP-NS	水道配水用ポリエチレン管																																																																																			
7 町道廻里津大和線(有島病院南)配水管布設替工事	φ100	L=150m	RRVP-L	4. DCIP-K																																																																																			
8 農道有明第四18、19号線配水管布設替工事	φ50	L=350m	RRVP-L	水道用ダクタイル鑄鉄管(K形)																																																																																			
9 町道古賀辺田線地盤沈下対策事業に伴う配水管布設替工事	φ100	L=300m	RRVP-L	5. RRVP-L																																																																																			
10 農道有明第一15、111号線配水管布設替工事	φ50	L=370m	RRVP-L	水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管																																																																																			
11 町道東郷廿治線配水管布設替工事	φ75	L=360m	PE、RRVP-L																																																																																				
12 町道深通福吉配水管布設替工事	φ75	L=100m	RRVP-L																																																																																				
13 町道福田横手線配水管布設替工事	φ75	L=20m	PE																																																																																				
14 町道太原外搦線配水管布設替工事	φ50	L=150m	RRVP-L																																																																																				
15 町道横手第3号線連絡配水管布設工事	φ100	L=160m	PE																																																																																				